



企画展「岡山東照宮の祭礼」 を開催します

江戸時代の岡山城下町で盛大に行われていた岡山東照宮の祭礼について、所蔵する関連資料を展示します。岡山藩がほぼ毎年実施したこの祭礼には、城下の多数の武士と町人が参加し、華麗な行列が市中を練り歩きました。明治維新とともに消滅したこの祭礼を資料で跡付けます。

1 日 時

令和8年10月16日(金)～12月13日(日)

休館日:毎週平日の月曜日(11月23日(祝)は開館します)

開館時間:10時～18時(毎週木曜日は11時～19時)

2 場 所

岡山市立中央図書館(北区二日市町) 2階 視聴覚ホールの中の展示コーナー

3 内 容

岡山東照宮は、徳川家康を祀る東照宮を、岡山藩主の池田光政が正保2年(1645)に岡山へも勧請したことに由来します。翌年に始まった岡山東照宮の祭礼は、岡山藩が江戸幕府のもとで領国を統治していることを示しつつ、城下の多数の住民の参加で家臣と領民の一体感を育むために岡山藩が力を入れてきたもので、幕末の慶応3年(1867)までほぼ毎年開催されました。

当館には、祭礼の神輿の渡御先である御旅所の詳しい絵図や、岡山城下の町人の代表者である惣年寄の役職を幕末に務めた豪商、国富家の文書などが所蔵されており、それらから祭礼の華やかな行列や、市中の賑わい、準備に携わった町人の裏方作業などがうかがわれます。

4 関連の歴史講座

「狂歌師・篠野一方の「東照宮御祭礼行」をめぐって」 令和8年11月7日(土) 14時～16時

「国富家文書と岡山東照宮の祭礼」 令和8年12月5日(土) 14時～16時

会場:岡山市立中央図書館 2階 視聴覚ホール(参加自由、聴講無料)

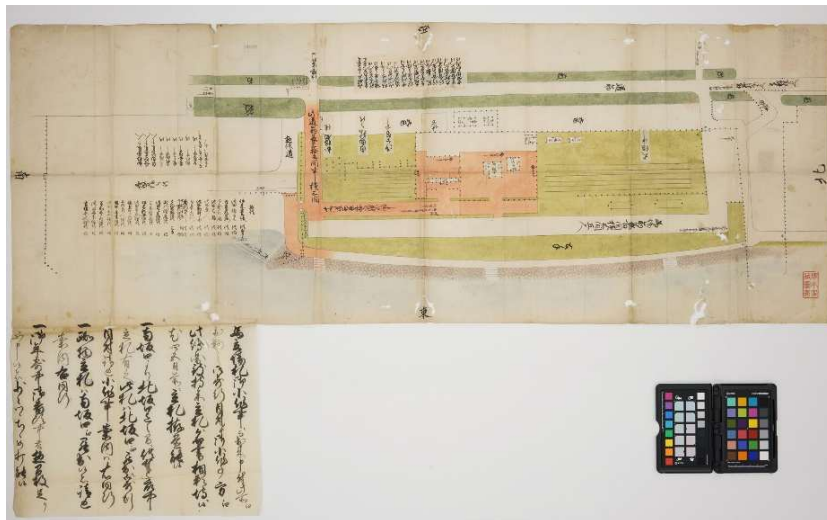
講師:岡山市立中央図書館 主査学芸員 飯島章仁

【問い合わせ先】

岡山市立中央図書館 飯島・杉野 直通086-223-3373



おもな展示品



「東照宮御祭礼御旅所之図」

祭礼のとき岡山東照宮を出発した神輿は、市中を練り歩き、現在の北区兵団にあつた御旅所まで移動しました。これはその図で、担当の役人の配置が示されています。



「岡山東照宮祭礼

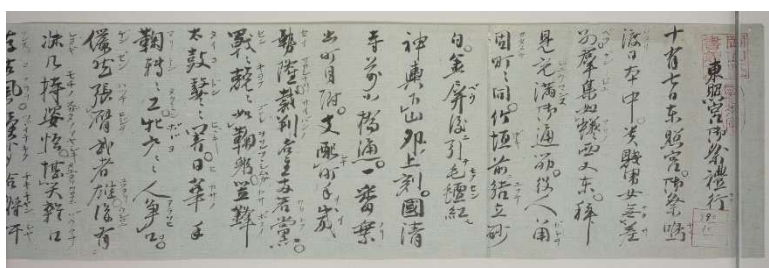
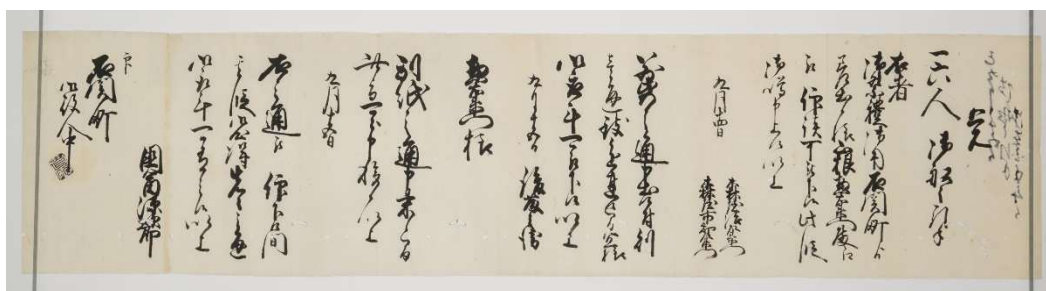
ぎょうれつ ず 行列図」

御旅所や、祭礼の行列、沿道の賑わいなどが描かれていて、祭りの様子がわかる小冊子です。



「覚」(国富家文書から)

藩主らが乗る公用船の引き手として石関町から6名を出すように、船奉行が町奉行を通して命じた文書です。



「東照宮御祭礼行」の冒頭の部分

岡山城下の鐘撞堂の近くに住む医者で、狂歌の名手として知られた篠野一方(耳元鐘近)が、東照宮祭礼の市中の賑わいを記した詩文です。